

社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ふらっと」

〒951-8142

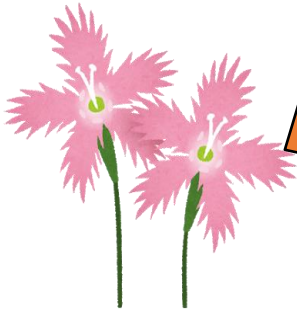
新潟市中央区関屋大川前1丁目2番28号

TEL 025(265)5958 FAX 025(265)5948

相談専用 TEL 025(265)5957

E-Mail : furatto@chive.ocn.ne.jp

URL: <http://www.shinano-niigata.sakura.ne.jp/>



ふら～っと

● ● ● 9月 ふらっと予定 ● ● ●

☆毎月第1土曜日開催

●茶話会.....

7日(土) 13:30～ 地域交流室にて(女性のための茶話会です)

☆毎月第3土曜日開催

●昼食会.....

21日(土) 当日 10:30までにお申し込みください。

施設見学会のご案内

今年も利用者さん向けに施設見学会を行います。「ふらっと以外の施設ってどんなところがあるの?」「介護保険の施設ってどんなところ?」等お考えの方、ぜひご参加ください。

詳細につきましては、ふらっと内に掲示いたしますのでご確認ください。

※参加希望の方は、それぞれの締切日までにお申し込みください。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

9月26日
(木)

ふらっと出発
9:50

関屋おもと園

(新潟市地域包括支援センター関屋・白新)
介護保険の利用の仕方など、制度についての説明と施設見学。

9/19(木) ×切 定員5名

9月27日
(金)

ふらっと出発
9:45

デイサービスあやめ(共生型生活介護)
CROSS HARBOR(就労継続支援B型)
各施設を見学。昼食を見学先の施設で頂く
予定です。※昼食代は自己負担

9/20(金) ×切 定員5名

精神保健福祉ボランティア講座

この度ふらっとでは、精神保健福祉に興味のある方への精神保健福祉ボランティア講座を企画いたしました。こころの病の基礎知識や、生きづらさを持っている方との関わり方などを一緒に学んでみませんか? どなたにもわかりやすい内容ですので、精神保健福祉やボランティアについて関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

詳細につきましては、次号でもお知らせいたします。

【開催日時】第1回 令和元年10月26日(土)

第2回 令和元年11月2日(土)

第3回 令和元年12月7日(土)

各回 13時30分～16時頃

【会場】 地域生活支援センターふらっと

【定員】 10名程度

【参加費】 無料

【対象者】 精神保健福祉ボランティアに興味のある地域住民の方、障がい福祉サービス関係者、民生委員、地区コミュニティ協議会など地域福祉関係者、教育関係者、学生 等

祭 新潟しなの福社会 夏まつり

8月24日（土）に新潟しなの福社会夏まつりを開催しました。連日雨が続いていましたが、おまつり当日は朝からよい天気恵まれ、大勢の皆さまに足を運んでいただくことが出来ました。

今年も地域の皆さま、関係者の皆様に多大なるご支援、ご協力を賜り、無事に賑やかなお祭りを開催できましたことを新潟しなの福社会職員一同、心より感謝いたします。

今後とも、新潟しなの福社会をよろしくお願いいたします。



関屋六階節保存会様

お祭りを盛り上げてくださった
イベント出演者の皆さま



民謡あだち会様



TG☆キャンドル
レインボー&エンジェルスター様



ボランティアのご協力

- 新潟医療福祉カレッジの皆さま
- 新潟青陵大学の皆さま
- 新潟医療福祉大学の皆さま
- 東北福祉大の皆さま

参加団体（敬称略）

- ワークショップロード
- 梨の里
- クローバードンバスの家
- いしずえ
- 新潟しなの福社会後援会

バザー物品ご寄付（順不同）

- 川本佳子様
- 江坂卓様
- 佐藤和子様
- 梅野次郎様
- 東樹浩子様
- 奥田裕美様
- 大岡正一郎様
- 能勢朋子様
- 阿部洋子様
- 木村き子様
- 岩浪敏之様
- 伊藤啓一様
- 関川弘雄様
- ワークショップロード様
- 三浦クリニック様

その他、大勢の皆さまよりたくさんのご寄付を頂きました。ありがとうございました。

まつりを終えて



「新潟しなの福社会夏まつり」にご参加、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

例年まつりが終わると「秋が近付いてきたな」と実感してきます。ふらっとのスタッフでは2番目に暑さと湿度が苦手な自分は、この夏も超クールビズな服装で働いていました。しかし訪問先で「あんたまた、ずいぶんと楽な格好で来たねえ」とか「あ、今日はお休みの日でしたか？」と言われ、反省を覚えた次第です・・・

今回ふらっとでは、「共生社会」をキーワードに施設見学会、ボランティア講座を企画しました。関心のある方は、是非ご参加ください。精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム、措置入院から退院された方への支援体制作りなど、新潟市においても関係機関が連携して取り組むべき大きな課題です。メンバーからも「これから先の暮らしってどうなるの?」「親も年をとって・・・」など、目の前にある不安の声を聞きます。

地域のなかで、重要な相談の場・居場所としての「地活」はどうあるべきか。ふらっとでも手探りではありますが、これからの生活についてメンバーと一緒に考え、発信していきたいと思えます。